

『愛を紡ぐ』

～予期せぬ出来事への称賛～

私たちの魂は、愛の抱擁を
求めて紡がれているのではないだろうか？

もしそうなら、私たちの考えを沈黙の中に散らし、
喜びが私たちの心を満たすようにしましょう。

不確かさの霧の中に、
少しの間とどまってみよう。
なぜ、それほどまでに確実さを求めるのだろう？

自尊心という鎧を脱ぎ捨てて、生まれ変わろう。

このように踊ったことはない？

私のささやき：完璧だ。さあ、始めよう！

「そんなこと、気に入らない人もいるよ？」

微笑みながら：「ええ——でも、あなたはどうかの？」

機知と驚異と共にワルツを踊る者たちは、
光に向かって踊り続ける。

彼らは深淵から古の錬金術を引き出し、
ビッグリップが全ての星々が
時の織物から引き裂かれる前に、
全てが大丈夫になる…



ティン: (詩を読んだ後、首を振った) こんな、全然理解できない。実際の人ってこんな風に話さないでしょ!

玲亜: まあ、誰もが意味では「本当」であり、他の面では偽物です。リラックスして矛盾をお楽しみください!そして、もっと根本的な疑問は、「そもそも、ほとんどの人は“現実の人”なのか? 僕たちは、事実と虚構のハイブリッドなんだ。

ミン: (うなずきながら) みんなが物事を「非現実」って呼ぶのをやめてほしいな。本当は「予期していなかった」と言いたいだけなのに。僕たちは予期しないことを受け入れることを学ばなきゃならない。期待は一種の精神的な便秘を引き起こすんだ。

- T Newfields (和訳: 吉田典子とwakem)

開始: 2005年 東京都 完成: 2025年 静岡市